

令和8年 1月30日 (金)

あさひの日だまり

NO.32

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～来入児一日入学がありました～

新入生の入学が楽しみです

先週の23日に来入児の一日入学がありました。来入児の皆さんは1年生の教室と一緒に過ごしました。当日は廊下を来入児の手を引いて一緒に歩く1年生の姿がありました。なんだか少しいつもの1年生に比べてすました顔のように見えました。この1年間の成長をそういう時に実感します。子どもの伸びる力はすごいと思います。写真は1年生が来入児に読み聞かせをしている様子です。膝をついて目線を下げてお話ししている姿にも相手に寄り添う優しさを感じられます。

こんな素敵なお兄さんやお姉さんがいる学校です。来入児の皆さんが小学校での生活を楽しみにしていてくれることを願います。

来入児の皆さんが1年生と過ごしている間に保護者の皆様は学校説明会に参加していただきました。その中でお話しする時間が少しいただけたのでこんなお話をさせていただきました。

本日はご来校ありがとうございます。職員一同お子様のご入学を心よりお待ちしております。この中には平出保育園の方がおいでのこと

と思います。平出保育園は今年度末をもって閉園となります。ということは今年の卒園生が最後の卒園生ということです。「自分が最後の卒園生だったんだ」ということを一生心に刻んでいくこととなります。そう思うと一つの節目の入学児童さんを迎えるんだなと感じます。

話は変わります。先日テレビを観ていたらこんな一場面を目にしました。それはあるアンケートに対する回答をパネルにしてそれについてゲストの人たちが自分の考えを述べている場面でした。

アンケートの質問内容は「10年後の日本は今より悪くなっていると思うか」という質問でした。

「悪くなっている」という質問が、何が悪くなっているのかということなのですが、まあ、漠然とということだと思います。どうですか、アンケートに答えた方の10人のうち何人が悪くなっていると思うと答えたと思いますか。

10人のうち7人が悪くなっていると思うと答えたのだそうです。

どうですかこの回答数。みなさんのお子さんは6才です。10年後ということになると16才。高校1・2年かだと思います。未来に夢をもって日々を楽しんでいる年頃です。その時代を今より悪い状況の中で生活することになるわけです。そのときにですね。「私の未来は暗いな」とか「夢がないな」とか絶対に思ってしまうと私は強く思うんです。皆さんも大切なお子さんがそんな思いを抱きながら生きていくことを決して望まれないと思います。

多分私は10人の中の3人の方にはいる人間だと思うんです。私は本気で思っているんです。この世の中には楽しいことがたくさんいたるところにあると。なかなか捨てたもんじゃない世の中だと。

でも、その楽しい出来事とは自分で見つけようとして動き出さないとなかなか出会えません。

私は楽しい出来事を自分で見つけようとして行動を起こすことを「挑戦」と呼んで、子どもたちや先生方に果敢に「挑戦」して下さいと呼び掛けてきました。みなさんのお子さんが、辰野東小学校での生活の中でたくさんのことに「挑戦」できるようなお子さんに成長して欲しいと願っています。本校の先生方はそのために精一杯力を尽くして下さいます。お子様に「辰野東小学校は楽しいところだよ入学が楽しみだね」とお伝えください。よろしくお願いします。入学までの間に何か心配なことがありましたらどうぞ遠慮なく学校までお問い合わせください。

以上です。お時間いただきましてありがとうございました。



～児童会選挙がありました～

引継ぎが迫っています

22日の木曜日に来年度の児童会へ向けての選挙がありました。それに先立って立会演説会も行われました。今年の5年生はクラスですので、立候補者が1名ということになります。私たちの選挙でも場合によっては信任投票となりますが、今回の児童会の投票も信任投票となりました。



会長候補は馬場涼太君です。来年度の児童会へ向けて自分らしさを出せるようにどんな工夫をしたいか一生懸命に話してくれました。推薦責任者も間近で日ごろから見ている馬場君の素の素敵な姿を語ってくれました。二人ともとても好感の持てる内容でした。

その後選挙管理委員長から投票の注意事項に関する放送が入り投票となりました。全校の児童が整然と真剣に投票へ向かう姿勢に、「これは大切なこと」ということをきちんとわかまえてい

る子どもたちの立派な姿を見ました。そして即日開票の結果馬場君が信任され、令和8年度の児童会長となりました。

私はいつも役員の子どもたちに話していることがあるのです。それは「児童会で学校をこう変えたいという提案があればそれを最優先に取り入れます」ということです。「楽しい学校」は教職員だけで作っていくものではありません。子どもたちが楽しむためには子どもたちが学校創りに関わる必要があると思っています。学校職員と令和8年度の児童会が協力して「楽しい学校」創りが進められることを心から願っています。

～1日はオペレッタフェスティバルです～

本番会場でリハーサルがありました

2年生と3年生が今年は辰野町のオペレッタフェスティバルに参加してくれます。27日（火）に本番会場の町民会館でリハーサルが行われました。二つの学年の児童たちは歩いて会場を訪れステージの感触を確かめました。

2年生はクラスの仲間たちと南の島へ大冒険をする物語です。3年生はもちもちの木というお話を全員で演じます。2年生の方は音楽会でも楽しそうに自信をもって演じていましたので、本番も少しくらい振付がずれることなどかまわずに思いっきり楽しく演じてくれたら嬉しいなと思っていました。リハーサルではまさに私の願い通りの子どもたちの姿でした。大きな口をあけて体を揺らして胸を張って前を向いて本当に楽しそうに演じてくれていました。クラスみんなが仲良しなんだという様子もそこから感じることができました。見ている私も思わず笑顔になりました。

一方3年生はこのステージのために音楽会が終わってから練習を始めました。私は少し前に学校で練習している様子をのぞかせてもらいました。声が小さくてなかなか台詞が聞き取れないような部分もあり少し心配していました。そういうこともありリハーサルのステージも大丈夫かなと思いながら見ていました。ところがですどうでしょう。リハーサルの3年生の姿は以前の様子とは見違えるようでした。一人で語る台詞はどの子の声もはっきりと会場に響くのです。皆で合わせる台詞は山の中に枝を張るもちもちの大木を想像させてくれました。私は「すごいぞ3年生」と感心して見入っていました。

子どもたちは本当に頑張っています。その頑張りの様子はきっと私たちを幸せにしてくれると思います。当日会場へ足を運んでいただけたら幸いです。

